

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/10/09

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.51	0.02
JPY/THB	0.2129	-0.0010
USD/JPY	152.69	0.79
EUR/THB	37.83	-0.06
EUR/USD	1.1628	-0.0029
USD/CNH	7.150	0.004
SGD/THB	25.10	-0.03
AUD/THB	21.41	0.03
USD/INR	88.80	0.02
USD Index	98.92	0.34

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.244	0.023
10Y (THB)	1.447	0.037
5Y (USD)	3.715	0.014
10Y (USD)	4.117	-0.006

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	4,043.3	66.7
WTI (Oil)	62.55	0.82
Copper	10,669.0	-92.0

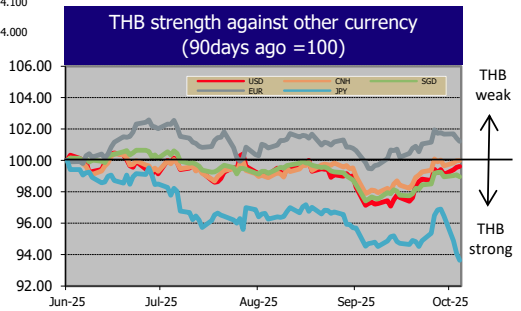
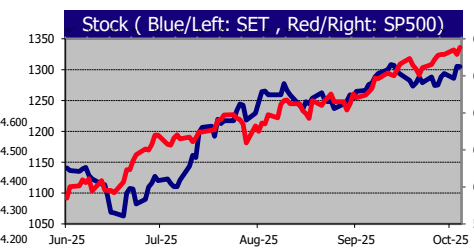
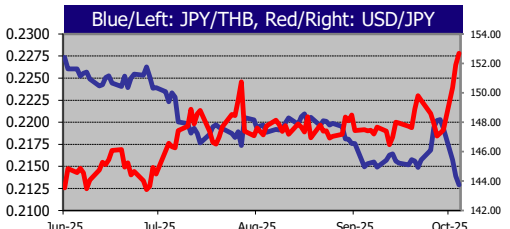
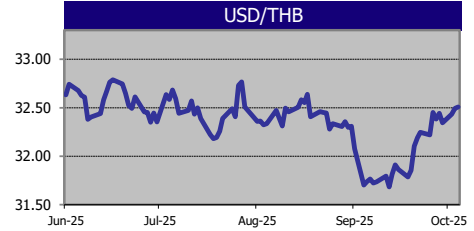
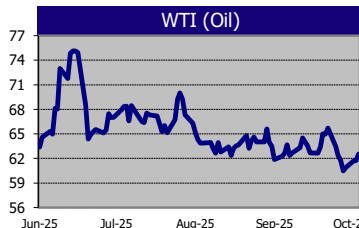
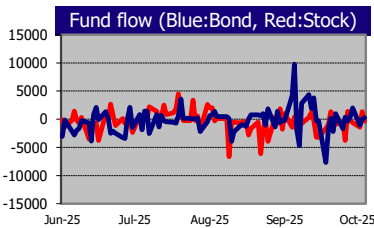
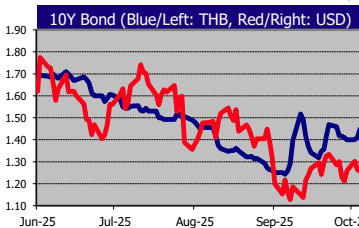
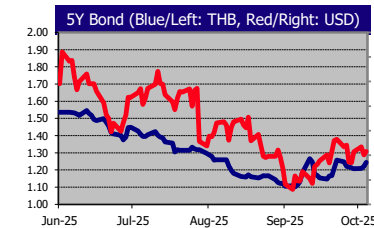
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,304.92	-0.32
NIKKEI (JP)	47,734.99	-215.89
DOW (US)	46,601.78	-1.20
S&P500 (US)	6,753.72	39.13
SHCOMP (CN)	3,882.78	0.00
DAX(GER)	24,597.13	211.35

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(333)	-1662.9
Bond net flow	281	281.6

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツはタイ中銀(BoT)による金融政策委員会(MPC)の結果公表を経て一時動意付くも、結局水準は変わらず。32パーツ台半ばの水準で取引を開始したドルパーツは、午後のMPC結果公表まで動意乏しく推移。注目のMPCでは、大方の予想に反し金利据え置きが決定され、発表直後のマーケットはパーツ高、金利上昇で反応。ただ、声明文において「政策余地が限られている中で、あくまでタイミングと(利下げの)効果を重視」した上での決定であることが言及され、BoTのスタンスは引き続きハト派的であるとの見方も一部台頭し、ドルパーツは海外時間入りにかけて会合前の水準まで戻す展開に。ただ、以降は特段新規の材料見当たらない中でドルパーツも勢いを失い、32.50を挟んだ狭いレンジでの推移となり、そのまま32.51レベルで引けた。

●ドル円その他

昨日のドル円は続伸。151円台後半の水準で取引を開始、自民党総裁選の結果を受けた円売り地合いが継続する中で、バンコク時間午前中にはおよそ8か月ぶりに152円台後半を付ける展開に。海外勢が参入してくるとさらに上値を伸ばし、一時153円ちょうど付近まで上昇するも、同水準では調整も入り、152円台半ばまで戻した。ただ、終盤にかけても底堅い推移は継続。じりじりと152円台後半まで上昇し、結局152.69レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日タイ中銀は大方の市場の予想に反して、5対2の投票で政策金利を1.50%に据え置いた。ハト派かつ政府寄りと目されたウィタイ新総裁の下での初めての金融政策決定会合ということもあり、従前より市場では利下げを織り込む動きが優勢だったが、蓋を開けてみれば市場の想定よりも慎重だったというのが一旦の受け止めと言えそうだ。金利据え置き理由は、限られた政策余地を考慮し、利下げのタイミングと効果を重視したことが声明の中で述べられている。今回の声明の注目点は、昨年10月以降の利下げサイクルの中で初めて、「これまでの利下げの効果が経済に波及しつつある」と明記されたことだろう。ハト派と見られていたウィタイ新総裁が加わっても、タカ派寄りのMPCの構成や声明のトーンが変わるには及ばず、寧ろ上記の「波及中」との言葉が追加されたり、「利下げ余地が限られている」との認識が再確認されたことから、次回12月の利下げシナリオですら不透明感が強まった印象を受ける。他方、政治面では、今の政権は来年初めの議会解散、総選挙を前提とした暫定的なものであることから、実績を急ぐ政府から今後利下げ圧力が強まる可能性は相応に考えられるだろう。昨日のドルパーツは会合を受けパーツ高で反応後、結局パーツ安に戻しており、市場もタイ金融環境の先行きを測りかねているようにも見える。ウィタイ新体制の手腕が問われる局面はここからと言えそうだ。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.